

中立的態度ヲ保持スベク山西及綏遠軍亦一帯ヲ省境附近ニ進
出セシムル等消極的對策ハ之ヲ講ズベキモ進ンデ積極的行動
ニ出ツル公算少キモノト判斷セラル
空軍ハ消極的態度ヲ採リアルモ瀋陽、平漢沿線ノ主要飛行場
ニハ著々所要ノ準備ヲ進メアルヲ以テ中部河北省作戰ニ際シ
其ノ一部ノ參戰ヲ豫期セラル
三、今後ノ戰況推移ニ關スル判斷
支那駐屯軍ノ作戰地域ヲ概ネ保定—滄流線ノ線以北ト爲ス而
シテ支那側モ亦保定附近ニ於テハ眞面目ナル抵抗ヲ爲スベク
該線ニ進出センガ爲ニハ相當激烈ナル戰鬪ヲ豫期モザルベカ
ラス支那駐屯軍司令官ハ平津地方ノ掃蕩ヲ行ヒツツ逐次到着
スル増加兵團ヲ併セ適時上記ノ線ニ向ヒ前進スベク其ノ時
兵力區分等ハ今後ノ情勢ニ依リ決定セラルベシ

第二章 對支作戰計畫

第一節 中央統帥部ノ作戰計畫

對支作戰計
素ノ大綱

中央統帥部ハ對支作戰ニ關シ作戰範圍ヲ成ルベク局地ニ限定シ
短時日ニ作戰ヲ終ルノ方針ノ下ニ事變前計畫準備スル所アリシ
ガ武力行使ニ決セル後七月二十九日左記ノ如ク對支作戰計畫ノ
具體的大綱ヲ策定セリ

一 作戰方針

平津地方ノ安定ヲ圖ル

作戰地域ハ概ネ保定ト獨流橋ノ線以北ニ限定ス

狀況ニ依リ一部ノ兵力ヲ以テ青島及上滬附近ニ作戰スルコト

アリ

二 兵糧ノ兵力編組及任務

平津地方ニ駐屯軍ヲ以テ約四師團ヲ基幹トシ平津地方

ニ作戰ス

三 青島附近 概ネ一師團ヲ基幹トシ青島附近ヲ占領シテ主ト

シテ居留民ヲ保護ス

四 作戰指導ノ要領

陸海軍
協定事項

1. 支那駐屯軍ヲ以テ平津地方ニ作戦セシム
2. 青島及上海附近ニ對スル作戦ハ状況止ムツ得ザル場合ニ
之ヲ行フ

3. 情勢ニ依リ最小限ノ兵力ヲ以テ平津地方ヲ領有シ持久ヲ
策スルコトアリ

4. 情勢ニ應ジ逐次所要ノ兵力ヲ動員シテ滿洲ニ派遣スル如ク
準備ヘ

5. 別ニ所要ノ兵力ヲ中央直轄トシ情勢ノ變化ニ應ジ得ル如ク
準備ヘ

北支作戦ニ關スル陸海軍協定ハ七月十一日既ニ確定セラレタ
リ
其ノ大要左ノ如シ

北支作戦ニ關スル陸海軍協定

其ノ一 作戦指導方針

一、敵メテ作戦地域ヲ平津地方ニ限定シ中、南支ニハ主義トシ

テ實行ヲ行使セズ

但シ正ムヲ得ザル場合ニ於テハ青島、上海附近ニ於テ居留

民ヲ保護ス

二 海陸協同作戰

三 本作戰實行中第三國ト事ヲ構フルコトハ極力之ヲ避ク

其ノ二 作戰任務ノ分擔

六 平津地方確保ノ爲關東軍及內務ヨリ所要兵力ヲ平津地方ニ

派遣シ支那駐屯軍ヲ強化ス

右作戰ハ主トシテ陸軍之ニ當リ海軍ハ陸軍輸送護衛ヲ天

陸方面ニ於テ陸軍作戰ニ協力ス

一 中、南支方面ニ對シテハ海軍主トシテ警戒ニ任ズ

三 前項方面ノ情況惡化シ管轄居留民ノ保護ヲ要スル場合ニ於

テハ青島及上海附近ニ限リシ陸海軍所要兵力協同シテ之ニ

當ル

四 航空ニ關シテハ別ニ定ム

其ノ三 兵力區分、輸送護衛

一、兵力區分

ノ陸軍ハ左ノ如ク兵力ヲ派遣ス

イ 北支方面

關東軍ヨリ 混成約二旅團其ノ他所要ノ部隊

内地ヨリ 朝鮮ヨリ應急動員一師團及内地ヨリ動員

三師團其ノ他所要ノ部隊

ロ 青島及上海方面

所要ノ部隊ヲ配當スルモ其ノ兵力區分ハ北支方面等ノ

狀況ニ依リ決定ス

2 海軍ハ左ノ如ク兵力ヲ増派ス

イ 北支方面

第五戰隊第四水雷戰隊、木曾、多摩、巖島、長鯨、第

十一、第二十三驅逐隊、組床第二聯合航空隊、特別陸

戰隊二大隊

口 中支及南支方面

第八戰隊、第一水雷戰隊、第一聯合航空隊、特別陸隊

隊二大隊

二 輸送及護衛

1 北支方面ニ對スル輸送ハ主力ハ鐵道ニ依リ(釜山經由)

一部ハ海路ニ依ル(秦島上陸)

2 青島、上海方面ハ輸送ハ海路ニ依ル但シ狀況ニ依リ一

部ハ急派ヲ考慮ス

輸送區分ハ狀況ニ依リ定ム

3 海上護衛ハ第四戰隊、第二水雷戰隊、第二聯合航空隊及

第三艦隊ハ一部ヲ以テ之ニ充テ間接護衛トシ要スレバ直

接護衛トス

其ノ四 通信連絡

外征陸軍ノ中央部ト通信連絡ハ必要ニ應ジ海軍ニ於テ中繼

援助ス

附 註

北支作戦ニ關スル海軍航空ニ關スル協定

一 北支方面ニ於ケル敵航空勢力ノ覆滅ハ主トシテ陸軍之ニ任ジ左ノ如キ場合海軍之ニ協力ス

北支以外ノ方面ニ於ケル航空作戦ノ考慮ナキトキニシテ陸軍方面緊急ナルトキ

2. 右以外ノ場合ト雖モ陸軍方面緊急ニシテ至近海軍航空兵力ニ協力餘裕アル場合

二 中支及南支方面ニ於ケル敵航空勢力ノ覆滅ハ主トシテ海軍之ニ任ジ陸軍ハ自衛ノ爲ニスル航空作戦ニ任ズ

三 陸軍輸送船隊ノ海上護衛並ニ上陸地到着前後海軍機ハ所要ニ應ジ空陸ノ敵ニ對シ之ヲ掩護ス

四 海軍部隊ノ上陸時及陸軍飛行準備完了ニ至ル迄ノ間ニ於ケル陸軍ノ爲ノ空中勤務ハ之ヲ要スレバ海軍航空兵力ヲ以テス

五 同一方面ニ在ル陸海軍航空部隊ノ任務ノ分擔協同ノ要

領等ノ細項ハ更ニ出征部隊間ニ直接協定ス

六 使用兵力

ノ 陸軍

イ 平津方面

航空兵團司令部

飛行團司令部

偵察八中隊

戰車七中隊

輕機四中隊

重機五中隊

イ 青島及上海方面

偵察二中隊

戰車二中隊

ノ 海軍

イ 北支方面

第二聯合航空隊

第二十一航空隊

作戰ノ推移ニ依リ第二聯合航空隊ハ中支方面ニ轉戰

シ又狀況ニ依リ第二聯隊搭載機（水偵）ノ一部ヲ以

テ編組増勢ス

口中、南支方面

第一航空戰隊

第二航空戰隊

第一聯合航空隊

第二十二航空隊

第十二戰隊

又狀況ニ依リ第一、第二航空戰隊ノ飛行機モ上海方

面基地ニ揚陸ス

七 飛行場ノ使用區分竝ニ其ノ整備

ノ北支（關東州）方面

海軍

作戰初頭第二聯合航空隊ハ周水子飛行場 大連西ヲ使用
ス爾後狀況ニ依リ一部ハ青島、滄口飛行場ヲ陸軍ト共
用ス滄口飛行場ノ整備ハ海軍之ヲ擔任ス

陸軍

北支方面ニ於テハ陸軍ハ山海關、綏中及天津方面ノ飛
行場ヲ使用ス但シ重機隊ハ周水子ヲ使用スルコトアリ
山東方面ニ於テハ陸軍ハ當初ハ滄口飛行場ヲ海軍ト共
用シ爾後西方地區ニ飛行場ノ整備シ之ニ進出ス
周水子飛行場ノ整備ハ陸軍之ニ擔任ス

2. 中支方面

イ 作戰初頭

公大上海ハ陸海軍之ヲ共用シ新公園海上ハ海軍之ヲ專
用ス

東瀋離飛行場^{海上}完成セバ公大ノ海軍飛行機ハ東瀋

離ニ移ル公大、新公園及東瀋離飛行場ノ整備ハ海軍

軍之ヲ擔任ス

口爾 後

陸軍飛行隊専用飛行場（江瀋^{海上}方面ト豫定ス）完

成セバ陸軍飛行隊ノ主力ハ之ニ移ル江瀋方面ニ於

ケル飛行場ノ整備ハ陸海軍協同シテ行フ

海軍ハ尙太康^{海上}飛行場ヲ整備使用ス

狀況許ス限り遼海軍ハ速カニ龍華飛行場^上南側^東ヲ

ハ燃料、爆彈等ノ補給

陸海軍獨自ニ補給ス

海軍航空部隊ノ空輸ニ際シ新義州、平壤、京城及大邱

ニ於テ中繼補給ヲ要スル場合ノ補給ハ陸軍之ヲ援助ス

但シ平壤以外ニ於テ多數機ノ補給ヲ要スルニ於テ燃料
ハ海軍ニテ準備ス

陸軍統空部隊空輸ノ際濟州島ニ於テ中繼補給ヲ要スル
場合ハ海軍之ヲ援助ス此ノ場合ノ燃料ハ爲シ得レバ陸
軍ニテ準備ス

第二節 支那駐屯軍ノ作戰計畫

支那駐屯軍ハ七月十二日ノ情勢判斷ニ基キ交渉決裂スルニ至
ルコトアルヲ考慮シ七月十五日左ノ作戰計畫ヲ策定セリ

其ノ一 方針

一 軍ハ作戰行動ヲ開始スルニ至ラバ所在ノ支那第二十九軍
ヲ速カニ武力ヲ以テ殲滅ス而シテ先ツ北平郊外ノ敵ヲ永
定河以西ニ掃蕩スルヲ第一期トス

二 北平居留民ノ保護ニ關シテハ右作戰ト同時ニ平時計畫ト
關聯シテ極力萬全ヲ策ス

三 第二期作戰ハ狀況ニ依ル而シテ現有兵力ヲ以テ保定ト任

邱保定東方ノ線、增加兵力ヲ以テ石家莊、德州ノ線ニ進
出シ中央軍トノ決戦ヲ豫期ス

其ノ二 指導要領

七月二十日迄ニ各兵團ヲ集中スルト同時ニ第一期作戰ヲ準備ス
ル爲之ヲ展開スルコト左ノ如シ

獨立混成第十一旅團 主力高麗營、一部順義

獨立混成第一旅團 懷茹

第二十師團 天津、唐山、山海關ノ地區

其ノ三 會戰指導ノ大綱

第一期作戰ハ主トシテ北平西郷ニ在ル第三十七師ヲ永定

河以南ニ掃蕩ス狀況ニ依リテハ南苑ニ在ル第三十八師ヲ

モ掃蕩ス

此ノ間第百三十二師ニ對シテハ第二十師團ヲ以テ隨時之

ニ應シ得ルノ用意ニ在ラシメツツ作戰ヲ指導ス

ニ航空部隊ノ主力ヲ以テ地上會戰ニ先ダチ第二十九軍中最

モ挑戰的ナル第三十七師ニ對シ攻撃威力ヲ依中ス之ガ爲
爆撃ハ西苑、八寶山、北苑、長辛店ニ指向シ狀況ニ依リ
南苑ニ指向スルコトアリ
第一期掃蕩作戰間航空部隊ハ集結セル威力ヲ以テ地上作
戰ニ協力ス

三、北平市街及萬壽山ニ對シテハ絕對ニ掃蕩ヲ行フコトナシ
四、獨立混成第十一旅團及向第一旅團ハ北平ノ西北及西方地
區ヲ永定河ノ線ニ向ヒ作戰ス

此ノ際北平城内ニ對シテハ攻撃ヲ行フコトナク之ヲ要ス
ル場合ニ在リテハ所要ノ兵力ヲ以テ監視ス

五、支那陸軍歩兵旅團ノ主力ヲ以テ豐台附近ニ在リテ軍ノ企
圖ニ從ヒ隨時八寶山北平西方ヲ占領シ得ルノ態勢ニ在ラシ

シメ獨立混成第十一旅團同第一旅團ト策應シ行動開始ヲ
軍ニ於テ指導ス此ノ場合南苑ニ對シ所要ノ監視ヲ行ヒ在

通州部隊ヲ招致ス

狀況ニ依リ所要ノ兵力ヲ以テ八寶山ニ對セシメ且成ルベク豐台ノ補給基點ヲ掩護セシメツツ在通州部隊ヲ併セテ南苑ニ向フコトアリ

在通州支那駐屯歩兵旅團ノ一部ハ適時之ヲ小遊子北平東方ニ進出シテ速カニ游團長ノ指揮下ニ屬シ八寶山又ハ狀況ニ依リ南苑ニ向ハシム

在通州支那駐屯歩兵ノ一部ハ北平居留民保護ノ爲更ニ兵力ヲ要スル場合ハ城内部隊ト協カシ北平城内へ強行進入セシムルコトアリ

六 第二十師團ハ主力ヲ鐵道ヲ以テ北平南方地區ニ輸送シ北平郊外ノ掃蕩戰ニ逐次加入セシム

此ノ際成ルベク永定河右岸ニ於テ敵ノ退路ヲ遮斷スル如ク作戰セシム一部ノ兵力ヲ以テ第百三十二師ニ對スルノ準備ヲ整ヘシムルモノトス

七、軍ハ當初ヨリ支那駐屯歩兵旅隊ノ約一大隊ヲ天津ニ於テ豫備トシテ直轄シ主トシテ天津警備ニ當ラシメ別ニ第二十師團ノ來著ニ件ヒ其ノ歩兵一聯隊ヲ天津ニ於テ軍豫備タラシム

其ノ四 補給及通信

- 一、兵站ハ差當リ第一期掃蕩戰ニ應ズル諸準備ヲ完了セシムルヲ主眼トス之ガ爲兵站主地ヲ天津ニ設ケ通州及豐台ニ補給基點ヲ設ケ半會戰分ノ車馬品及一箇月分ノ糧秣ヲ集積ス
 - 二、通信天津ヲ基點トシ平時ノ諸施設ヲ増強シテ有線通信ヲ行ヒ軍及兵團ノ有スル無線ニ依ル通信ヲ例トス
 - 三、軍司令部ハ第一期、第二期作戰間天津ニ位置ス會戰間通州又ハ豐台ニ戰鬪司令部ヲ進ムルコトアリ
- 右作戰計畫ハ爾後若干ノ變更アリシモ方針ノ大要及第一期作戰ハ計畫ノ如ク實施セラレタリ

附記

一 平壤方面ヨリ第二十九軍ヲ驅逐セル以後ノ支那駐屯軍
等作戰計畫ハ各會議ノ部ニ之ヲ記述ス

二 北平方面ノ背後ヲ安全ナラシメ且滿洲國ヲ擁護スル爲
七月二十九日中央統帥部ハ關東軍司令官ヲシテ一部ノ
兵力ヲ多倫^{承德}西北方面ニ派遣シテ內蒙古政府軍ヲ支
援シ滿洲國境ヲ警戒セシメタルモ尙ク進出スルノ積極
行動ハ嚴ニ之ヲ戒メタリ

